UCHIYAMA HOLDINGS
ウチヤマホールディングスグループ
東証一部上場（証券コード:6059）

UCHIYAMA GROUP 社内報
ウチヤマタイムズ
2018 8
No. 198
（株）ウチヤマホールディングス 〒802-0044北九州市小倉北区熊本2丁目10-10 電話:093-551-0002
発行日:平成30年7月20日 編集:岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里 監修:内山文治・吉岡信之

自然災害の被災地支援について

6月18日に大阪府北部を震源地とする大きな地震が発生、7月上旬には西日本一帯を記録的な集中豪雨が襲うなど、自然災害が立て続けに発生しました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。ウチヤマグループでは、これらの災害に際して被災された介護を必要とする高齢者の方を対象に、さわやか倶楽部の介護施設で無償受け入れを実施しています。皆様の周りでお困りの方がおられましたら、気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ先　ウチヤマホールディングス本社 TEL.093-551-0002（担当:小橋、肥後）

ウチヤマ子ども食堂オープン！

ウチヤマグループでは、社会貢献活動の一環として、六月より北九州市内の市民センター二か所にて『子ども食堂』をオープンしました！六月十九日にオープンした「足立ウチヤマ子ども食堂」では二〇名、六月二十九日にオープンした「富野ウチヤマ子ども食堂」では、九名の子どもたちが参加しました。また、ウチヤマグループの社員をはじめ地域や学生ボランティアの皆様など、どちらも四〇名以上の方々が集い、楽しく盛大な開催となりました。初回は保護者の方々も参加され、安心して利用していただきました。すでに、ウチヤマグループの取引先をはじめ多くの方より寄付やご協賛をいただき、子どもたちの支援に活用しています。今後も地域に根付いた支援を目指し積極的に取り組みます。皆さんのご参加・ご協力をお願いします！

足立ウチヤマ子ども食堂

第1週・第3週 火曜日開催

足立市民センター（小倉北区宇佐町）

富野ウチヤマ子ども食堂

月2回 金曜日開催

富野市民センター（小倉北区須賀町）

対象　各校区にお住まいの小学生を中心としたお子様

時間　午後5:00～午後8:00（午後7:00受付終了）

参加料　100円/1人（食事代込）　定員　30名/1回

担当　ウチヤマ子ども食堂実行委員会（市丸・小橋・中山・溝口）

お問い合わせは、お気軽にお電話ください。
TEL.093-551-0002

●子ども食堂とは…

企業や地域が一体となって、子どもたちに温かくおいしい食事を提供することにより、「孤食」を予防し、幸福感や安心感を与える居場所を提供する取り組みです。ウチヤマ子ども食堂は、北九州市子ども家庭局子育て支援課所管のもと、北九州市立大学の学生との協働で実施し、食事を提供するだけでなく、子どもたちに「食」に対する興味や知識が持てるような「食育」の機会も設けています。また、当社の介護施設で給食を提供しているティー・エフ・ピー様や九州栄養福祉大学の学生さんにも、おいしい食事を作るお手伝いを行っていただいています。

ライフマップ販売スタート！

さわやか倶楽部が平成二十六年度から進めてきた九州大学・平井康之教授との共同研究の中で生まれたコミュニケーションツール『ライフマップ』の製品版が完成し、七月より外部への販売を開始しました。

ライフマップの特長は、従来の介護アセスメントツールでは引き出しにくかった利用者様の本当の気持ちや本当の想いを引き出していくところにあります。ライフマップを用いることで、言葉だけでなく視覚的にも利用者様がケアマネジャーと楽しく会話をしながら、人生に対する「想い」のこもった目標設定を可能とし、より生きがいのある生活をサポートすることが可能になります。具体的には、利用者様の人生の道のりを描いたボードに、様々なエピソードや趣味を表すマグネットを貼りながら、過去の人生を振り返ります。そうして、利用者様が今まで大事にしてきた気持ちや想いに寄り添いながら、これからの目標を含むライフプラン（人生設計）を作成していきます。

さわやか倶楽部の一部施設においては、入居されているお客様にライフマップのプロトタイプを活用して、生きがいにつながるライフプランの作成および実践に成功した事例が生まれています。過去にはテレビ番組や新聞などでも取り上げられ、全国の介護施設等からも反響が寄せられています。

●ライフマップキット（1セット）

販売価格 **39,800円**（税別）

ツール使用に関する研修申込みも受け付けています。（別途費用）※詳細はお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先
（株）さわやか倶楽部
担当:石本・小林・草原
TEL.093-551-5555
E-mail lifemap@sawayakaclub.jp

第31回

内山さわやか会総会

6月21日、北九州市のアサノパティオにて、第31回となる内山さわやか会の総会が行われました。古賀会長が議長となって進行し、事業内容の報告や今後の行事予定、役員や新入会員の紹介などが行われました。総会の後には、来賓の方々も参加して総勢103名で懇親会が行われました。内山さわやか会では今後も様々な活動を通じて、会員様同士の交流を図るイベント等を計画しています。

内山さわやか会家族研修旅行2018

姫路 淡路 四国 2泊3日の旅 平成30年 8月26日～8月28日

●会員1名 **37,000円** ●一般1名 **57,000円**

お申し込み・お問い合わせ先

内山さわやか会事務局 TEL.093-551-0008

ウチヤマホールディングス 第12回 定時株主総会

6月26日、(株)ウチヤマホールディングスの第12回定時株主総会が、北九州市のステーションホテル小倉にて開催されました。今年は昨年を上回る52名の株主の方が出席されました。内山社長が議長となり、すべての議案が承認されました。質疑応答の場面では、個人株主の方から期待を込めた前向きな質問が出て、各幹部から丁寧に回答することで、当社のことをより一層理解していただける機会となりました。最後に、今回の総会で選任された取締役(監査等委員を除く)が紹介され、株主の方に向けて挨拶を行いました。

STAR No.125

生島 由稀(しょうじま ゆうき)さん 24歳

さわやか立花館・フロアリーダー
[福岡県福岡市]

キラリ一等星

キラリと輝くスタッフをご紹介します。

昨年の4月に新卒で入社しました。介護の経験はありませんでしたが、就職活動で色々な企業の話を聞いた中で、さわやか倶楽部で仕事をしたいと思い応募しました。

見学させてもらった施設の雰囲気が良く、入居者様が生活しやすい工夫がされていました。入居者様に生きがいを持って楽しく生活して頂けるよう、少しでもサポートしていきたいと思いました。

入居者様と関わっていくうちに、心を開いてくれるのを感じられた時は嬉しく、笑顔が見られたときはこの仕事をしてよかったなと感じます。入居者様に「あなたのいる夜勤は安心する。困ったときはお願いね」と言われたときは、少しでも頼りにされているんだと思い、とても嬉しかったです。外出レクで入居者様が行ってみたいところに一緒に行くなど、入居者様がやりたいことを実現し、思い出を作っていきたいです。

大学時代は陸上部の長距離に所属し、駅伝などにも出ていました。入社後もランニングチームに入り、市民レースに参加していましたが、最近はあまり走っていないので、また挑戦したいと思います。

入社した当時は何もわからない中、同じフロアの職員、ナースに多くのことを教わりました。一緒に仕事をしていて、細かいところに気づける先輩方のようになりたいです。いつも指導してくださる立花館の方々にはとても感謝しています。介護の知識も経験もまだまだですが、少しでも力になり頼られる存在になりたいです。なにより、入居者様が楽しく生活しやすい施設作りをみんなでしていきたいです。

BEST 日報賞

ウチヤマグループで働く
皆さんの日報をご紹介します。

福田 由規（ゆき）さん

●コロッケ倶楽部 飯塚店
福岡県飯塚市

予約も少なく穏やかな一日となりました。ランチも穏やかな流れでしたので、1食1食丁寧に作ることができました。お客様にも「キレイ!美味しそう!ありがとうございます!!」と言って頂き、大変嬉しかったです。最近はお客様から顔を覚えて頂き、常連のお客様からお菓子を頂いたり、あだ名で呼んで頂いたりと、お客様との距離が近く感じられて、やりがいが感じられます。これからも「福田さんがいるから飯塚店に行こう」と思ってもらえるような接客を行っていこうと思います。

吉田 恵次主任

●さわやかすずめのみや
栃木県宇都宮市

数日前から行っていた雑草取りが終了しました。草刈りを行い雑草をまとめていると、1人の人影が見えました。栄養士の高橋さんが、黙々と雑草をまとめている姿が見られ、感無量でした。感謝の言葉を伝えると「一緒にやらせて下さい」と言って下さって、改めて感謝しました。外はたいへん暑い中、このように率先して行ってくれるスタッフがいることを誇りに思います。すずめ農園にある野菜も順調に育ち、実を付け始めました。収穫時には入居者様へ提供し、九州にある子ども食堂に送ることも考えています。

産んでくれて、育ててくれて、ありがとう。

山本 純司さん

さわやかいずみ館
福岡県朝倉市

私は今年の6月11日で51歳になりましたが、生まれた時は大変な難産だったようです。田舎の病院で当時としては最新の「吸盤で頭を張り付けて引っ張り出す」方法を試したが出て来れず、「鉤（かぎ）針を目の上の窪みに引掛けて引っ張り出す」方法になったそうです。医師より「たまたま上手くいけば良いが、鉤が目や脳に当って失明や脳への損傷も有るかも知れない」と言われた両親はその時、もし五体満足に生まれて来たらそれ以上何も望まないと決めたそうです。鉤を引掛けてようやく引っ張り出した時には息をしておらず、逆さにつって水を吐かせて、やっと産声を上げたそうです。

その後は両親にのびのび育ててもらい、健康に育ちました。ただ、人としての道だけは厳しく教えられ、蔵に閉じ込められたことも何度もありますが、今はありがたく感じています。そのおかげか、大学在学中に人の役に立ちたいという思いが強くなり、理科系の大学に進学したにも関わらず、全く畑違いの知的障害者施設に入職することになりました。父にはせっかく大学に通わせてもらったのに、それを活かせず申し訳ないと話すと、父は「大学は人生の要領を学ぶところ。だから、それを学べたのならそれでいい」と話してくれ、心からホッとしたのを今でも思い出します。

大学卒業後、知的障害者施設、精神病院、そして老人ホームである、さわやかいずみ館と勤務させて頂き、人の色々な場面に関わらせて頂きました。内山社長に『親の足を洗ってみろ』と言われた事があり、実際に足を洗い、マッサージをしたところとても喜ばれました。また、誕生日は親に感謝する日という言葉を頂いて以来、毎年両親にメールではありますが、『生んでくれた事に感謝しています』とメールを送る様にしています。実家が三重県ということもあり、両親に会えるのも数年に1回がやっとの私ですが、こうして今があるのも、父母はもちろん、関係するすべての方々のおかげと感謝しています。

お父さんお母さん、産んで頂きありがとうございます。内山社長をはじめ、ウチヤマグループの仲間の皆様、ありがとうございます。

おたよりのご紹介

【コロッケ倶楽部 相模原店】
二人組のお客さんがアルコールを注文していたら、柴原店長が車での来店の有無を尋ね、車で来店のお客さんに穏やかにしっかりとアルコールの提供を断り、ソフトドリンクを勧めていました。車のキーを目で確認していたようです。若いけれど、さすが店長と思いました。（神奈川県相模原市・福井様より）

【コロッケ倶楽部 久留米津福店】
みなみさんは笑顔がいいです。今月は私の誕生日でした。スイーツの大きいプレゼントありがとうございました。少ない人数で皆さん一生懸命仕事をされていて、いつ来ても気持ちいいです。（福岡県久留米市・山下様より）

【コロッケ倶楽部 浦添店】
きくやまさんはお客様への特典の説明が丁寧です。私はヘルパーですが、いつも来ると車イスなのを考慮して案内してくれます。皆さん、不親切な方はいませんよ。ほめて下さい。（沖縄県宜野湾市・横村様より）

【さわやかすずめのみや】
マグロの解体ショー（春・秋）に家族や入所者が一緒にたいへん美味しいマグロをお腹一杯頂きながら民謡をたくさん聞かせていただきました。また、そば打ち大会やうどん打ち大会も楽しく、大変美味しいおそばやうどんをいただきました。お隣の保育園の園児をお迎えし、歌や踊りも見せて頂き、可愛らしくて涙の出る思いでした。月一回のフラワーアレンジメントにもたくさん参加して、部屋に生けた花を飾り大変楽しいです。
（栃木県栃木市・上岡様より）

さわやかだより

日々更新される施設のブログから一部をご紹介します。

さわやか
海響館（かいきょうかん）
福岡県北九州市

五平太ばやし

今年も高稜高校五平太ばやし部の生徒さんが演奏に来られました。一年ぶりの再会で生徒さんの成長ぶりが伺えて毎年嬉しくなります。

バチさばきと太鼓の音を感じるだけでなく入居者様も太鼓の体験。五平太のリズムが刻めて嬉しくなってきます。演奏後には本格的にレクチャーを受けながら叩かれるご夫婦も。

法被の背には『絆』の文字。入居者様と深くて温かい絆で結ばれました。7月21日の若松夏祭りでは練習の成果を発揮できますように。入居者様はじめ、職員みんなで応援しています。（園田 忍）

さわやか
かぬま館
栃木県鹿沼市

春風さん

久しぶりにボランティアの春風さんが来館され、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました!ご利用者さまはこの日の来るのを楽しみにしていました。

オープニングは花笠音頭で雰囲気を盛り上げてくれました。そして、美しい踊り、民謡などを披露しました。中でも、「黒田節」や「真室川音頭」などをご利用者さまも一緒に歌われました。「こんなに声を出したのは何日ぶりかな」という人もいて、気持ちよさそうに口ずさむ姿も。迫力ある津軽三味線の独奏の時は固唾をのんで聞き入り、終わると大きな拍手が湧きました。最後に「日光和楽音頭」を踊り、お開きになりました。（木主 和治）

さわやか
なんよう館
愛知県名古屋市

はっけよーいのこったー

今年も、大相撲名古屋場所の季節がやって参りました。去年も好評だったので、さわやかなんよう館からも応援に向かいました。まずは、みんなで記念撮影をしました。

最後列の席でしたが、皆様の視力は素晴らしく「よ～く、見えるわ～」と問題はなし。夕飯としてサンドイッチを持っていきました。「こういうところで飲む酒がうまいんだよ。飲みたいな～」という声があり、職員は日本酒・ビールを買いに行き、皆様飲みながら、観戦しました。

本日の結びの一番で、なんとまさかの横綱鶴竜を前頭三枚目の阿炎が突出しで下し、大金星を取りました。会場では、たくさんの座布団が宙を舞いました。これには、我々も大興奮でした。皆さんお酒も入り、ほろ酔いでとっても盛り上がりました。

また、来年もチケットの争奪戦に勝利し、入居者様をお連れしたいと思います。（佐藤 有紀）

さわやか
グループホーム
なかばる
福岡県北九州市

太鼓の打ち込み

本日、「中原子供山笠」のお子さんの太鼓の打ち込みの披露がありました。子供達の打ち込みを見て入居者様・利用者様方はとても喜ばれておられました。笛に太鼓にと様々な楽器を使って綺麗な音を披露されており、感動されている方もいました。戸畑祇園は7月の終わりにあります。さわやか中原館の前も「神輿」が通ります。楽しみですね。（牧田 恵）

さわやか
新居浜館（にいはまかん）
愛媛県新居浜市

流しそうめん

暑い毎日が続いていますね。今日の新居浜の最高気温は33度です。そんな中、新居浜館では夏の風物詩、流しそうめんレクを行いました。考えただけで涼しげな気分になりますね。

竹を縦半分に割ったものを利用して水とそうめんを一緒に流し、流れてきたそうめんをお箸ですくいながら食べます。薬味は、ネギ・しょうが・わさびを準備しています。

皆様、順番を話し合い、お口に頬張りながら食べる流しそうめんはお腹も心も満たしてくれます。楽しい時間を過ごすことができました。（戸田 香奈江）

さわやか
大積館（おおつみかん）
福岡県北九州市

避難訓練

避難訓練がありました。消防の方がしっかりとチェックする中火災想定の避難開始。通報や確認に走るスタッフ。やはりその場になったら慌てるものですね。

さて、避難完了後は総評を頂き、消火訓練に移ります。火元へ向け消火開始。ご利用者様も行ってくださいました。しっかり消せました。次はAEDの説明を真剣に聞きます。いざと言うときに混乱している暇はない。とにかく救命に走るのみ。みなさんに安心して頂けるように私たちは鍛錬を続けますのでご安心を。（大崎 友絵）

さわやか
グループホーム
せいのう
福岡県北九州市

黒崎祇園山笠

大雨がうそのよう。半分あきらめていたのですが、藤田東山笠が今年もやってきました。開設の時から毎年せいのう館に来てくださっています。

皆様、真剣に見学されています。毎年楽しみにされています。今日は笹山笠ですが23日は本山笠です。

最後にぐるりと回ってフィナーレです。また23日にお会いしましょう。（高尾 清美）

MESSAGE from PRESIDENT

ウチヤマグループ代表　内山 文治

信頼の軌跡

六月一日に、兵庫県姫路市の「さわやかひめじ館」と秋田県秋田市の「さわやか桜参番館」が開所しました。どちらも市が主催する公募で選定して頂いた介護付有料老人ホームです。「さわやかひめじ館」については、さわやか倶楽部として姫路市に初進出となりますので、お客様、地域の方々の信頼を得られるように、これからしっかり施設運営と告知活動を行って欲しいと期待しています。

「さわやか桜参番館」の開所においては、信頼というのは、事業を継続・拡大していく上で、最も大切な事の一つだと改めて感じました。今となっては意外に思われる方も多いかもしれませんが、介護事業をスタートし福岡県内で事業を拡大していたウチヤマグループが、初めて福岡県外に進出したのは、福岡から遠く離れた秋田県仙北市でした。最初の施設は「さわやか桜館」、ウチヤマグループが運営を引継ぐ前は「花あかり角館（かくのだて）」という名前でした。この施設の運営を他社から引き継いだことが、介護事業の全国展開の契機となり、現在秋田県内で運営内容に評価を頂いている信頼の源泉となっています。

「さわやか桜館」の前身である「花あかり角館」は、元々東京の会社が運営していましたが、経営が立ち行かなくなり売却を検討しているという話を受けて、平成十九年三月に竹村専務が状況の確認に行きました。現場に行くと施設運営は既に切迫している状況で、私にもすぐに連絡がありました。当時三十二名のご高齢者が入居されていましたが、運営会社は夜逃げ状態で、職員への給与は三か月も支払われていませんでした。また、給食業者への支払も滞っているために業務を継続できず手を引くということで、食事提供もできなくなる状況でした。

竹村専務から状況を聞いた私は、命に関わる問題だと危機を感じ、この時ばかりは損得を度外視して最優先で支援するように伝えました。その時はまだ当社が引き継ぐことも決まっていない状態でしたが、石本部長と給食事業課の調理師を派遣し、職員の生活を支える為の生活費を支給するなど、運営の安定化のためにできることから手をつけていきました。

そうした一連の対応が行政等からの信頼につながり、ぜひさわやか倶楽部に運営を引き継いで欲しいという依頼を受けて、「さわやか桜館」と名前を変えて平成十九年七月に再スタートしました。形式上の引き継ぎが終わっても、以前のずさんな経営を知っている地域の方々の信頼を取り戻すには時間がかかりましたが、当時施設長として頑張ってくれた石本部長をはじめ使命感を持った職員たちが、当社の理念と哲学を実践する施設運営を続けてくれたおかげで、開所から一年八か月で満室となりました。そして十一年を経た今も、常に満員で入居者様に喜んで頂ける施設になっています。

その後、秋田県で二番目の施設となった秋田市の「さわやか桜弐番館」は、平成二十三年十一月一日に開所してから約一年半で満床となって以来、現在六十一か月連続満床で、さわやか倶楽部の長期満床記録を更新し続けています。これだけの信頼を積み重ねてきた秋田県で、三番目に開所した「さわやか桜参番館」は今年六月一日に開所し、六月三十日に満床になりました。

ウチヤマグループでも一か月で満床になった施設は初めてです。桜参番館の職員の皆さん、大変頑張ってくれました、改めて感謝しています。もちろん皆さんの努力あってこその結果ですが、ウチヤマグループの先輩たちが歩んできた歴史があるということを忘れず、感謝の気持ちを大切にして欲しいと思います。今得られている信頼は、十年以上かけて多くの職員が関わり、積み重ねた信頼です。桜参番館がこれから運営を続ける中で、更に広い繋がりを築き、大きな信頼を得ることができるように、理念の実践を通じて地域社会に貢献していきましょう。

現在、ウチヤマグループの施設・店舗は、北海道から沖縄だけでなく、海外までも展開を進めています。どんな場所でどんな事業を行うにしても、ウチヤマグループの理念と哲学は同じです。お客様へ一流のサービスを提供し、地域の皆様に必要とされ、信頼される企業を常に目指していきましょう。

今月のおすすめ図書

1. ザ・パワー（ロンダ・バーン）
2. レ・ミゼラブル（上・下）（ヴィクトル・ユゴー）
3. 百歳人生を生きるヒント（五木 寛之）
4. 未来の年表2（河合 雅司）
5. いのち（瀬戸内 寂聴）
6. ドラッカー365の金言（P・F・ドラッカー）
7. 3秒でハッピーになる超名言100（ひすい こたろう）
8. ブレーメンのおんがくたい（ポプラ社 出版）
9. 花いっぱいになあれ（他4話）（光村図書出版）
10. はなび（秋山 とも子 作）

逆境を味方にしよう

六月二十六日にウチヤマホールディングスの第十二回定時株主総会を開催しました。出席される株主の方も年々増え、中には赤ん坊を抱っこされた若い女性の姿も見えるなど、男女問わず幅広い年齢層の株主の方が参加してくださいました。質疑応答では、ウチヤマグループの将来に期待を込めた前向きな質問を頂き、各幹部から誠意を込めてお答えさせていただきました。

東証一部に上場してからもうすぐ四年が経とうとしていますが、株主様からの期待も徐々に高まっているのを総会のたびに感じます。私たちに貴重な資金を預けて頂いている株主様は、ウチヤマグループの考え方に賛同し、将来の成長を夢見て期待してくれている〝同志〟でもあります。日頃から支えて頂いている株主様をはじめ、各地域のお客様、取引先の方々、そして家族にも感謝の気持ちを忘れずに、より一層社会から必要とされる企業を目指して素晴らしい仲間とチームワークを発揮し、その期待に応えていきましょう。

企業が進化・発展し続けるには、常に謙虚な姿勢で他社からも学ぶ姿勢が重要です。六月十二日～十三日に行われた、船井総合研究所主催の企業視察セミナーにおいても、私にとって重要な気付きがありました。中でも特に、「オカモトグループ」という企業グループは、理念と哲学が当社の考え方に似ているところもあり、共感する部分が多くありました。

オカモトグループは北海道帯広市に本社を置く会社で、戦後に新聞配達店からスタートして様々な事業を手掛けるようになりました。現在はガソリンスタンドやフィットネスクラブ、介護予防のリハビリ施設や飲食店など、幅広い業種に進出し、直営店・加盟店合わせて五〇〇店舗を超える規模を誇っています。いかにしてここまで成長できたのか、興味深く話を聞いていると、当社と同じようにオカモトグループにも理念をまとめた手帳があり、社員が理念をしっかりと理解して仕事の上で日々実践している様子が伺えました。

その手帳の中には生涯幸福設計のための十のセオリーが書かれてあり、その一つに「逆境こそ天が自分に与えた最大のチャンスである」という言葉がありました。経営の神様と呼ばれたパナソニック創業者の松下幸之助さんは、成功した要因を聞かれて、貧乏・病弱・学歴なしの三つを挙げたそうです。貧乏だから、素直にお金が欲しいと思い、学歴がなかったから一生懸命勉強し、体が弱いから人を信じて任せることができた、というわけです。逆境を悲観的にとらえて絶望したり他者に嫉妬するのではなく、それさえもチャンスと前向きに受け入れて克服する努力をすることで、成功への道を拓くことができたのです。

当社でも過去には逆境に遭遇し、考え方を変えたことで成功した事例があります。歌野専務と一緒にカラオケ事業を始めて軌道に乗ってからは、しばらく順調に進んでいました。当時導入していたカラオケの機械は一台に二五〇曲程度しか登録できず、登録曲がいっぱいになると追加で機械を購入する必要がありました。そのためには一台一〇〇万円という費用が必要でしたが、不動産事業で負債を多く抱えていた当時は金融機関から資金を借りることもできず、どうしようかと歌野専務と思案していました。そこで以前営業で話を聞いていた通信カラオケのことを思い出し、レンタル契約によって大きな資金をかけずに一店舗の約半分を通信カラオケに切り替えることにしました。北九州では当社が最初に通信カラオケを導入しましたが、これが大当たりして人気が爆発し、今のコロッケ倶楽部のチェーンの礎を築くことができました。

お金がなければ制約も多く、だからお金は大切であり、常にコスト意識を持って仕事に取組む必要があります。しかし、お金がないから、難しい状況だからこそ別の発想で新たな価値や利益を生むこともできると、この経験で私は強く感じたことを、今回の北海道での視察の際に改めて思い出しました。

どんな立場や状況にあっても、その時に今、何ができるか？を真剣に考えて行動すれば、必ず新しい道が拓けます。社会は常に変化し続けており、仕事のやり方や必要な物もどんどん変わっていきます。今足りないものをできない言い訳にして立ち止まることなく、逆境をも楽しんで克服する気持ちで、新しいことにも積極的にチャレンジしていきましょう。

北海道の先進事例に学ぶ

ビックリ事例視察セミナー

6月12日から13日にかけて、北海道にて船井総合研究所主催の企業視察セミナーが行われ、内山社長と一緒に参加させていただきました。「星野リゾートトマム」というツインタワーの高層ホテルでは、スキー客がいなくなる夏場の集客対策として、雲海を上から見渡せる「雲海テラス」を開設して業績を改善するなど、様々な部署でアイデアを出し合って新たな価値のあるサービスを生み出していました。また、帯広市に本社のある「オカモトグループ」では、ガソリンスタンドとフィットネスクラブを事業の柱に、飲食店や書店、デイサービスなど他業種にわたって多角的な経営を行っています。新人研修では、入社した社員に親から手紙を書いてもらうなど、家族を味方につけることで「勤めてよかった。辞めたらダメよ」という理念に沿った組織作りを徹底していました。他にも職員の約半数が障がい者で、高付加価値のチーズを製造している「協働学舎新得農場」や、マルセイバターサンドで有名な六花亭製菓が広大な森の中に設立した美術館「六花の森」などを見学しました。今回の視察を通じて、マイナス面もチャンスに転換する発想や、新入社員を定着させるための仕組みづくりなど、多くの気づきをいただきましたので、これからの仕事に活かしてまいります。（ウチヤマホールディングス取締役・吉岡信之）

HAPPY WEDDING

小野 雄志（ゆうし）さん&千海（ちひろ）さん

先日無事に挙式を終えることができました。上司や同僚の方々には盛大に祝っていただき嬉しい限りです。私はこれから一家の大黒柱として、心身ともに成長し、また夫婦で協力し合って、頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

さわやか螢風館・介護リーダー
小野 雄志

平間（へいま） 敦さん&遼（はるか）さん

5月12日に入籍いたしました。プライベートも多少忙しくなりますが、仕事と家庭を両立していけるよう努力していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いします。

コロッケ倶楽部
博多駅前店・店長
平間 敦

HELLO BABIES

守實（もりさね） 美凰（みお）ちゃん

平成30年5月17日生まれ　女の子

昨年、結婚しました。そして、可愛い娘が産まれ、今は休日の家族との時間が凄く楽しいです。娘の笑顔を活力に、今後の仕事も精一杯頑張っていきたいと思います。

★みおちゃんのパパ
さわやか東神楽館・介護職
守實 隆希（りゅうき）

堀口 愛希奈（あきな）ちゃん

平成30年6月16日生まれ　女の子

皆様のお力添えもあり、6月16日に元気な第一子が生まれて来てくれました。元気な女の子で、幸せいっぱいです。家族の為にもこれからも全力で頑張ります。

★あきなちゃんのパパ
さわやか立花弐番館・介護主任
堀口 北斗

さわやか倶楽部 今後の開所予定

名称		定員・ベッド数	開所予定日
1 さわやかあびこ館	[千葉県我孫子市]	特定施設（50床）	2018年11月
2 さわやかGHなすしおばら	[栃木県那須塩原市]	グループホーム（18床）	2019年 2月
3 さわやかそう花の里	[埼玉県草加市]	特定施設（61床）	2019年 3月
4 （仮）さわやか室蘭弐番館	[北海道室蘭市]	特定施設（60床）	2019年 8月
5 （仮）さわやか神戸西館	[兵庫県神戸市]	特定施設（80床）	2019年 9月
6 （仮）さわやか流山館	[千葉県流山市]	特定施設（71床）	2019年11月

※GH→グループホーム

ひとりで悩まないで！

あなたのお悩み話してみませんか？

さわやか相談室

お気軽にどんなことでもご相談下さい。お電話、メールお待ちしております！

電話番号 090-9497-5764
メール sawayakasoudan@docomo.ne.jp